

佳作
(高校部門)

京都女子高等学校 2年

叶内 かなうち
紗弥 さや

僕が笑っていないとお母さんとお父さんが悲しむから

ネパールで出会った一人の少年

昨年の夏、国際ボランティアでネパールへ赴き一人の少年に出会った。聞けば、彼は地震で親を亡くしたそうだ。私は彼をはじめとする子供たちと街のゴミ拾いをした。

当時、ネパールの殆どの人が飢餓や貧困に苦しんでいた。しかし、彼は終始笑顔だった。「なんでずっと笑っているの？」そう聞くと「僕が笑っていないとお母さんとお父さんが悲しむから。」と明るい笑顔で彼は答え「医者になって沢山の人を救いたい。」と続けた。まだ幼く両親がいない中で、泣いたり甘えたりしたいはずなのに我慢し続けている彼だからこそ、その言葉に強い思いを感じた。

私は希望を失った人々に夢を与えその夢を守りたい。「私たちが世界を変える。」彼とそう誓った。